



繋がる、ちから

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年も内外ともに激しい変動の年になりますが、一人でも多くの方々と「繋がる」をキーワードに、安心・安全に心がけると共に利用者様の自己実現を目指して事業を進めてまいりたいと思います。

どうか、よろしくお願い致します。

平成25年 元旦
社会福祉法人千鳥福祉会 理事長 山本 昌子
役職員一同

平成24年度千鳥福祉会全体フォーラム (平成12年9月28日～29日)



組織は大きくなればなるほど、その運営は困難になります。職員同士のコミュニケーションを進めるにはどうすればいいのか、試行錯誤しています。今年も上半期を終了した時点で事業計画の進捗状況を発表し合う全体フォーラムを開催しました。そして、講師にお迎えしていた中国生産性本部の西川様には次の日、各事業所でグループ研修を受けました。各事業所の発表を聞きながら、取り組みが形になりつつある所やまだ計画の浸透に力が入っている所等ありますが、かけがえのないコミュニケーションのひとつになりました。

苦情受付・解決への取り組み報告

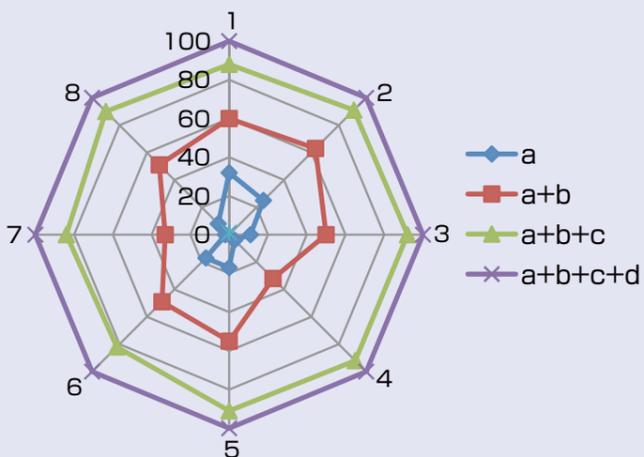
(H24年12月末現在)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気兼ねなく、お申し付け下さい。

●持田寮

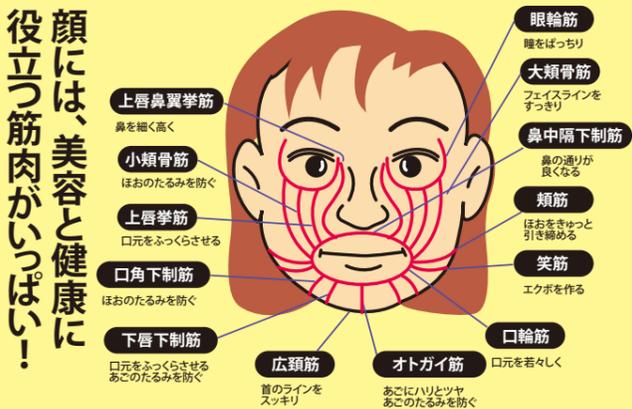
・他利用者からの他傷行為による利用者の受傷について(ご家族から)然るべき事後対応と再発防止策の検討を行って欲しい。取られた対応等について説明会なりで周知して欲しい。外部委員を入れるなどし、再発防止組織を整え、検討が行われる体制づくりをして欲しい。

■平成24年 セルフアセスメント



- 1. リーダーシップ (4)
 - 2. 価値創造のプロセス (2)
 - 3. 顧客・市場理解 (3)
 - 4. 戦略・展開 (2)
 - 5. 個人・組織能力 (3)
 - 6. 社会的責任 (4)
 - 7. 情報のマネジメント (2)
 - 8. 事業の結果 (3)
- ※カッコ内5段階評価値
- 総合評価 3

パタカラ健康講座開催予定



子供からお年寄りまで
パタカラを使って健康生活!
唇トレーニングの習慣化により美容・健康を目指そう!

- 日時 平成25年2月26日(火) 19:00～20:30
- 会場 Leaving care centerひまわり(虹のホール様隣)
- 講師 秋広 良昭先生(日本大学歯科部兼任講師)
- 参加方法 下記宛に事前連絡をお願いします。
L.C.C.ういんぐ TEL0852-24-8871(担当/永岡まで)

Leaving Care News 2013.01.1 No.118



「安心してそのままの暮らしを」

共同生活管理者
遠所 三津江

新年あけましておめでとうございます。

昨年末、3年前に歴史的な政権交代を果たした民主党がもろくも夢破れ、政治は再び自民党へ委ねられることになりました。もうそろそろ明るい時代と祈らずにはおれません。

さて、障がい者福祉は、2002年の障がい者プラン以降めまぐるしく制度改正が行われています。「脱施設」「地域移行」。近年は、家賃の補助制度による実費負担軽減措置、応益負担から応能負担へ、就労支援による所得保障、本年4月から障がい者総合支援法の施行が決定。更に、H26年にはGH(グループホーム)とCH(ケアホーム)の一元化が図られます。

一方、GH設立当初から利用の方には、高齢化により医療との連携が必要な方も増えています。「65歳になったら介護保険が優先」が原則ですが、知的障がいのあ

「地域とのつながりの大切さ」

L.C.C.ういんぐ管理者 神田弘治

新年明けましておめでとうございます。

利用者様に御利用していただける事への感謝の気持ちを忘れず、利用者様に少しでも満足いく日中活動が提供できるよう職員一丸となって進んでいきたいと思っています。

さて、当事業所では、昨年初めてセンターひまわりで、『障がい者理解』や『地域貢献』を目的に地域交流イベントを開催させて頂きました。本年は障がい者総合支援法施行の年になります。『障がい者の地域移行』『共生社会の構築』については、この法律内においても今まで以上に推し進められる事と思います。

私どもの事業所においても、利用者様への直接支援はもとより、今後の事業展開や日常的な業務の延長線上に『地域とのつながりの大切さ』を意識し、『障がい者福祉』が『地域福祉』の中に根付いていく為に力を注いでいきたいと思っています。



る方の介護保険施設やGHの利用は困難な実態があり、この点についての制度的な仕組みがないだけに全国的に深刻な問題となっています。当法人のGH,CHにも、70歳を超える方が10人、加えて、認知症・難病・特定疾患を抱え、将来について不安を訴える方もおられます。今の体制で健康や充実した生活を支えるには限界があり、24時間まるごと支援できる体制と、馴染みのある地域で安心して暮らせる住まいの整備を急いでいましたが、今春、東持田町に重度・高齢者向けケアホーム「朝陽」を創設する運びとなりました。創設に当たりましては、公民館・近隣自治会の皆様のあたたかいご理解とご協力をいただきましたこと、この紙面上で改めて御礼申し上げます。建設中の「朝陽」は、バリアフリーの平屋建て、緊急ステイ用の一室を加え八部屋、休日の見守り支援等を準備し、点在する9件のホームの拠点的功能を果たしたいと考えています。

法人理念の一つである、「障がいのある方の支援を通してやさしい地域ができることを信じて多くの方と喜びを共有できるよう」、縁あって当法人をご利用下さっている方が、安心して地域で暮らし続けられることによって、地域でのバリアフリーが図れるよう努めて参りたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

T690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障害者支援施設 持田寮
多機能型事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
共同生活援助・介護事業所
千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスぱすてる
URL <http://www.9.ocn.ne.jp/~chidori/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



New Year message

持田寮・ぱすてる 管理者/江指裕嗣

新年を迎えて...

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。新年というものは、何度味わっても本当に清々しいものです。何か昨日までとは景色が違って見えるもので、子どもの頃の正月の楽しい経験がそうさせるのでしょうか、誰もが心待ちにしているものだと思います。

また、大晦日の過ごし方という、私は、NHKの「ゆく年くる年」を見ることにしています。年が明けるまでは、寺院での祈祷の様子など厳かな中継が大半で、自分自身、一年を振り返る時間になります。今回の年越しには、「持田寮は、利用者の方の行動問題に起因した個への対応と再発防止のための新しい組織体制の構築に取り組んだ」「ぱすてるは、4月の立ち上げから、何とか軌道に乗せることに取り組んだ」という事が浮かびました。いずれも、一人でできることでなく、職員全員の力を合わせて取り組んできたことです。

今年も、昨年に続き、「安心して利用頂き、信頼が深まる」よう、地道に根気強く取り組みます。それが、共に働く職員にとっても安心して働ける場になると考えます。

年が明け、神社への初詣の様子など華やかで賑わいのある様子に一転。今年も一年頑張ろうと心沸き立ちます。今年もみなさまのお力添えを頂ければ幸いです。

相談支援事業所ひまわり 所長/竹内淳子

新年明けましておめでとうございます、本年も変わりませす どうぞよろしくお願い致します。

まだ「大空」と「ひまわり」が別の事業所になったと浸透してないようで、頂いた年賀状の住所は「ひまわり」で、宛先は「大空」やその反対の物がたくさん有りました。名前の変更は昨年4月からでしたので、もう少し時間がかかるかもしれませんね。

また今年の正月は、24時間サポートも電話は鳴らず、皆さん安定して過ごされたようです(ホッ)。

・1月1日電話0件、ここ数年で初めての事です。
・2日からは普通に有りました。特に一人暮らしの方は、正月でも来客無し、病院無し、話し相手無しで、平常時と違う寂しさが伝わって来ました。

電話で聞くだけでも「安心しました、有難う」と言って頂き、反対に恐縮。今後も出来るだけ丁寧な傾聴に心掛けたいと思います。その為にも、自分が常に安定した状況で居つづけられる事が大事です。自身がストレスをためないように、吐き出し口を探しています。

皆様的心温まるアドバイスが頼りですので宜しくお願いします。

居宅介護等事業所

ケアセンター大空 職員一同

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

現代は、地域福祉、在宅福祉の時代です。地域で暮らす障がいのある方たち一人ひとりの願いが叶えられるようスタッフ一同精一杯支援に努めます。安心と安全に心掛け、いつまでも利用していただける事業所を motto に夢を創造し、皆様に笑顔を届けられるよう今年も頑張ってお参ります。

Christmas event



フレンドの年末 職員一同

新年あけましておめでとうございます。早いもので、ワークセンターフレンドが出来て、今年で7年目となりました。今年も就労移行支援事業と就労継続B型事業の多機能事業所となりました。一般企業への就労は23年度が4名であったのに対して、24年度は6名となる見込みです。次々就職していく仲間も年末には忙しいだろうからとクリーニング作業の手伝いに来て下さる方もあり、こんなにうれしいことはありません。

フレンドは作業訓練が中心で、レクリエーションは少ないですが、毎年恒例で行っている行事の一つが「年末お楽しみ会(クリスマス会)」です。作業訓練が終わってから夕食を兼ねてパーティー形式で行いますが、作業をしている時の顔とは違う、とても陽気で楽しそうな笑顔が見られることを職員も楽しみにしています。今年も利用者さんと職員とで別の出し物を企画して、どっちが面白いかが対決をしました。軍配は利用者さんチームかな。(^^)P

一般就職を目指している方たちが利用される事業所だけあって、利用者の皆さんの意見や希望がとても出やすいし、利用者さんの自治会でも行事委員をお願いして、一緒に行事内容を考えます。作業訓練はとても大変ですが、仲間内で楽しめる行事を大切に、通うのを楽しみにしていただける事業所にしていけたらと思います。



どんぐり会のクリスマス会

どんぐり会会長(グループホーム利用者自治会) 加藤 幸子

12月20日、「利用者自治会どんぐり会」で初めてのクリスマス会をしました。食事のメニューやプログラムなど、それぞれのどんぐり会会議でみなからアイデアを出し合い、8人の実行委員で計画しました。飾り付けも、各ホームのみなで、空いた時間で準備しました。当日は、実行委員が早目集まって楽しく、きれいに飾りました。

世話人さんたちにも、希望した献立作りなど、いろいろしてもらいました。豚汁がとてもおいしかったです。テーブルには椅子があったほうがよかったです。ゲームは、少し長すぎました。最後のプレゼント交換では、それぞれが用意した品物を音楽に合わせてリレーして楽しかったです。

他のホームのみんなに会えたこと、みんなで過ごしたことがとても楽しかったし、うれしかったです。また、来年もみんなといっしょにしたいです。



持田寮のクリスマス会

中濱 早織

今年も持田寮の体育館でクリスマス会を開く事が出来ました。準備の段階から利用者さんにもお手伝いをして頂き、スムーズに出来ました。今回の会は、事前に利用者さんにどんなことをしたいかを聞き、又、例年のクリスマス会の感想なども踏まえて計画しました。

訓練班は、毎年、皆で相談して「劇」をしてきましたが、「これまでの成果を披露するのもいいね!」と言う意見もあり、これまでやってきた実績の積み重ねを見て頂く場としました。どういう形で披露するかは何度も練習を重ねました。練習の時は、皆さん思うがままに行動され、流れを作る事がとても難しかったのですが、やはり普段している事でもあるので比較的スムーズに動きを掴む事が出来ました。本番では、バッチリ!!会場の保護者さんからは、「うちの子こんな事も出来るようになったのっ」との声も聞かれ、職員も嬉しい気持ちでいっぱいでした。これからも「出来なかった事が出来るようになりたい」と言う利用者さんの気持ちを大切に支援していきたいと思ひます。

また、外部からもたくさんの方々に披露して頂きました。利用者さんを巻き込んで披露して頂いたバンドも身近で聴けて迫力もあり、心に響くものでした。また、ゆったりとした気分で見ることができた銭太鼓さんも特に保護者さんから「良かったわ!」と言う感想も頂きました。そして、日頃利用者さんが楽しんでおられる音楽や体操では、ステージの上でも笑顔で披露する事が出来ました。

職員の出し物もまだまだ負けてはおれませんね!来年もお楽しみに~と言えるものになりたいと考えています。年に一度のクリスマス会ではありますが、沢山の保護者の方、外部の方に来て頂き利用者さんも大変喜んでおられました。こんな場が更に楽しい、心に残るものとなる様、来年も頑張っていきたいと思ひます。



ういんぐのクリスマス会

山崎耕平

今年、初めてクリスマス会の担当をさせていただきました。担当として企画立案・役割分担・状況判断等において充分な事ができず皆さんにご迷惑をおかけしましたが、準備の段階から職員・利用者さんのご協力を頂き、お陰様で無事終えることができました。

今年のクリスマス会は、「みんなで作るクリスマス会」ということで、利用者さんに出たい出し物を選んでいただく事や共に内容を考えていく事で、練習の時から楽しんでやっていただけではないかと思ひます。

当日、緊張しておられる方もありましたが、笑顔も多く見られ、今回、このテーマでできて良かったと感じました。また、保護者の方、ボランティアの方、ご参加、ご協力いただきありがとうございました。



ぱすてる初のクリスマス会

長野 雅子

ぱすてるが開所してから初めての冬を迎えました。利用して頂く児童さんの笑顔の時間が増えるように、また他者との関わりを通して相手を思ったり、時には悩んだり...そして活動へ一緒に取り組む事で仲間が出来たらいいなと考え、様々な行事を企画してきました。

特にクリスマスは他の行事よりも楽しみにされているイベントと考え、職員もあれこれアイデアを出し合いました。今回はお一人ずつに自分用のミニツリーを準備し飾りつけをして頂いたり、職員と一緒に壁画作りをしながら雰囲気盛り上げていきました。もちろんクリスマス会は皆さん笑顔で楽しんでくださいました。

4月の開所からこれまで、児童さんの成長の早いことに改めて驚いています。貴重な成長期をぱすてるで過ごす頂き職員も学ぶことが多く、本当に多くの方に感謝です。